

# ひかり野

Saga  
University  
Library  
Bulletin

No.44  
October 2020

佐賀大学附属図書館

# 目次

## CONTENTS

疫病と図書館と 館長	1
古くて新しい図書館に 副館長	2
佐賀大生の皆さん、月並みですが読書の勧めです	3
ラーニング・コモন্ズの利活用	4
オリエンテーション・講習会	4
本館・分館で行っているテーマ展示	5
佐賀大学機関リポジトリ	5
図書館サポーター“さらりーず”の活動	6
オープンキャンパス	6
講演会・貴重資料展示の開催	7
貴重資料の環境整備	8
実習・研修生の受け入れ	8
受入資料紹介	9
人事異動	9
図書館統計	10
歴代館長・副館長	14
図書館の運営体制	14
館内マップ、各係の紹介	15
図書館日誌(行事・会議・研修等)	16
貴重書紹介「近世の疫病 ー小城藩日記データベースを用いてー」	





## 疫病と図書館と

館長 大島 一 里

令和2年度4月は、100年に一度の災厄に見舞われていた。1918年パンデミック(世界的流行)を引き起こしたインフルエンザウイルスは、当時の世界人口の4分の1に相当する5億人に感染し、スペイン風邪と呼ばれたその疫病(後に伝染病そして感染症と呼ばれる)は、4000万人もの死者数をだしたと推計されている。今流行の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)も将来2019年パンデミックと呼ばれるのであろうか、本学の附属図書館もその影響を受けて閉館で始まった。

人類も様々な疫病と出会いながら、これまで命を繋ぎ乗り越え現代まで進化してきた。疫病の原因となるのが病原体であり、ウイルスからマイコプラズマやクラミジアのような細菌、スピロヘータ、リケッチア、真菌、原虫、寄生虫と様々である。これまで多くの病気が、パンデミックとなった。ペスト、麻疹、天然痘、コレラ、結核、インフルエンザ、ポリオ、エイズ、マラリアなどはその代表である。ペストは短期間に3度もパンデミックとなったと言われているが、第2次の14世紀に猖獗を極めた疫病は「黒死病」とも呼ばれ、当時のヨーロッパ人口の3分の1から3分の2に当たる約2000万から3000万人前後の人々、当時の世界人口4分の1に相当する1億人の人々を死亡させた。

病原体は必ずしも人に感染するものだけではない。動物、魚、鳥、昆虫など様々な生き物そして植物にも感染して甚大な被害を与える。植物と言っても雑草などの野生植物が病気になっても誰も気にしないが、農作物に被害が及ぶと人々は騒ぎ出す。クリストファー・コロンブスは、1492年アメリカ大陸を発見しこの新世界の「発見」に因んだコロンブス交換(Columbian Exchange)は、その後に発生した東半球と西半球の間の植物、動物、食物そして奴隷を含む人々など甚大で広範囲にわたる交換を表現する時に用いられる。植物について焦点を当てれば、それまで野生であった植物が、人類に改良され様々な農作物になるのであるが、南米から持ち出されたトウモロコシとジャガイモの野生植物はユーラシア大陸で16世紀頃には栽培されるようになった。これらの大航海時代に起きた植物の交換は、世界食糧史において重要な出来事であったが、同時に農作物に病気を引き起こす多くの病原体もまた交換された。

ジャガイモ(馬鈴薯)は、ナス科ナス属の多年草の植物であり、小さなイモの原種が野生している南アメリカのアンデス山脈が原産である。保存性が高いことから、当時の船乗りたちの食料としても重宝された。その後人類により改良が繰り返されて、大きなイモをつける品種が作出され、世界中で広く栽培されるようになった。ヨーロッパで栽培されるジャガイモは、従来栽培されていた主要作物よりも痩せている土地でも育ち、寒冷な気候に耐えることができ収量も多いことから、17世紀には様々な国々で栽培が広まった。特に冷涼で農業に不適とされた北ヨーロッパ、東ヨーロッパそしてアイルランドでは、食文化を変えるほどに普及した。日本には、ジャワ島のジャガトラ(ジャカルタの旧名)から、1600年頃にオランダ人により長崎に持ち込まれた。「ジャガタライモ」が転じて「ジャガイモ」と呼ばれるようになったとされるのが最も有力な説である。平成29年度のジャガイモ生産量は、北海道(78.6%)に次いで、長崎県(3.7%)であることが理解できる。

アイルランドでの主要農作物はコムギであったが、寒冷地であり肥沃でない農地でも良く育つジャガイモ品種、「アイリッシュ・ランバー」が18世紀のアイルランド人の食糧を支えた。しかし1845年から4年間に渡ってジャガイモ疫病が大発生し、壊滅的な被害を与えた。このジャガイモ飢饉でアイルランドでは、100万人以上とも言われる餓死者を出し、イギリス、北アメリカそしてオーストラリア大陸へ200万人以上もの人が移住した。アメリカ合衆国に渡ったアイルランド人移民の中には、ケネディ家の先祖も含まれていたことは有名な話である。この疫病がなければ、ジョン・F・ケネディ大統領は生まれなかったのである。この他にアメリカ合衆国へ渡った人たちの子孫に、ロナルド・レーガン、ビル・クリントン、バラク・オバマなど4人の大統領がいたこともまた有名な話である。

バイオリンの演奏で始まる「ユー・レイズ・ミー・アップ」(You Raise Me Up)と言う曲をご存じであろうか。アイルランドとノルウェーのミュージシャン、「シークレット・ガーデン(Secret Garden)」の楽曲であり、日本ではアイルランドの女性グループ「ケルティック・ウーマン(Celtic Woman)」によるカバーが特に有名である。2006年2月開催のトリノオリンピックのフィギュアスケートで金メダルを受賞した荒川静香が、エキシビジョンでこの曲をバックにスケートした。作詞したのがアイルランド出身の小説家のブレンダン・グラハムであるが、彼は1998年に「The Whitest Flower」と2001年に「The Element of Fire」の2冊の小説を出版した。前者はアイルランドの大飢饉を伝えるドキュメンタリー小説であり、マサチューセッツ工科大学の教科書としても利用され、アイルランドでベストセラーになった。後者の作品もアイルランドの大飢饉で未亡人となったヒロインが、1850年代のボストンに移住する作品である。これらの作品は、ジャガイモの飢饉後の人生を力強く生き疫病を乗り越えたアイルランド人(アイリッシュ)の内容であるが、「ユー・レイズ・ミー・アップ」もこのような想いで作詞したのであろう。

疫病は何度か流行を繰り返す。スペイン風邪は1918年3月の第1波から1919年秋までに合計第3波があったとも言われている。新型コロナウイルス感染症も収束に時間がかかるのであろうか。このような時こそ学術情報基盤の集積地となり主体的な学習が可能となる場を提供し、そして教職員全員で知恵を出し未来の図書館像を描きたいと思う。今後とも、附属図書館のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



## 古くて 新しい図書館に

副館長 城戸 瑞穂

佐賀大学附属医学分館は、佐賀医科大学創設時より緑の美しい丘に面し堂々たる姿で鍋島キャンパスの中央に在ります。図書館は、多くの先人のご尽力により、医学部学生の学修の場として、医療者や研究者の情報収集の場として、そして患者様など地域の知の提供の場としての大切な役割を40年間果たして来ています。ところが、今年はこれまでの医学分館の歴史の中でも初めてのことであるヒト感染症の拡大による閉館を余儀なくされました。コロナ禍とも呼ばれる私たちの社会の生業を大きく揺さぶる感染症の拡大により、人との物理的な間近な関わり合いを変化させることが必要となっています。幸いなことにデジタル技術の発展のおかげで、遠隔講義や実習の一部でさえ教育や研究を実現することが可能だということが判りました。

今、私たちは、これまで当たり前になっていたことが当たり前でなかったことを実感する新たな機会に直面しています。私たちの周囲1メートルほどで行われること、つまり、人との関わり合いや医療、育児、介護、教育の一部も今の技術では代わりがないこと、それらが私たちの幸せで豊かな感情と深く関わることにも改めて感じ入っています。

図書館の果たす役割もデジタル技術により大きく変遷を遂げ、図書資料の保存管理、貸出、閲覧、学習環境整備などに加え、情報検索、学習支援など学術情報活用や流通の要請が高まっています。古からの文字に親しみ、文字により伝えられる豊かな情報を楽しみ、それぞれの興味のある世界をワクワクした気持ちで広げながら、こうした転機を好機と捉え、新たなあり方を模索しています。

異常気象を呼ぶ地球の温暖化、国を構成する人口や経済の変化、withコロナの常態化など急速に変化する社会の中で大学の知である教育や研究を守るために、図書館という豊かな財産を次の世代へとどのように伝えていくのでしょうか。医学分館は地域の医療の最後の砦としての附属病院を支持する機能も担っています。多様性と包摂性を実現するための新しい学びの方法を身に付けながら皆様のお力添えをいただき、共に考えて参りたいと思っています。

図書館は、山下宗利理事・副学長の統括の下、大島館長をトップとして、総勢23名が本館と分館で真摯にこれらの課題に向き合いながら着実な歩みを進めています。

老朽化した図書館施設の設備機能改善の概算要求を文部科学省に今年度も提出しています。皆様に愛され、親しみをもって訪れていただける図書館の実現には、多くの皆様からのご支援、ご協力、そしてご鞭撻が欠かせません。古いけれども、古くさくはない、新しい図書館の実現に、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。





## 佐賀大生の皆さん、 月並みですが 読書の勧めです

農学部 後藤文之

読書の勧めなんて、小学校のころから、いや、幼稚園のころから言われ続けており、何をいまさらかとお思いでしょうが、大学生になった今、ここでもう一度、読書について考えてみるのも、これからの大学生活や将来の職業人としての生活を過ごすうえで意味のあることではないでしょうか。読書の意義、読書の方法などについては、古今東西の高名、無名の方々が星の数ほど論じております。そこにさらに星屑を加えてどうするのだと自問しましたが、ほかでもない佐賀大生に勧めたく、恥ずかしながら私の個人的な拙い読書に対する考えを述べることにしました。

読書の効能と言いましょか、直接的な存在意義として、次の3つを考えたいと思います。それは、「エンターテイメント」、「仕事の補助具」、「生き方の処方箋」です。

まずは、理屈抜きにエンターテイメントとしてです。本好きな人(活字中毒者)にとっては、読書とは言うまでもなく無上の喜びでしょう。私は出張に出かけるときには、本をカバンに1~2冊入れていきます。かつては飛行機や新幹線の中で、PCを開き書類を書くことがほとんどでしたが、だんだんと年を重ねるにつれて本を読むようになりました。単に怠けているだけかもしれませんが、本を読んでいる最中にふと外を眺めたりすると、意識があらゆる方向に広がり、研究のアイデアが浮かんだりします。

次は、仕事の補助具としてです。私は、大学教員ですので、専門書や論文を読まない日はまずありません。印刷媒体の利点は、10冊以上の本や論文を一度に広げられることです。また、重要な箇所にはすぐにアンダーラインや付加情報を手書きで加えることもできます。このような多事性と同時性は、PCに勝る利点だと思います。ビジネスパーソンとしては、いわゆるハウツーものも大事な本です。例えば、「伝わるデザインの基本」、「科研費獲得の方法とコツ」、「英語論文によく使う表現」などです。ハウツー本の中にはとても役に立つものから???なものまで多種多様ですが、それはあくまでも人によるものです。私にとって???でも、Aさんにとってはすごく貴重な場合もあります。

最後は、生き方の処方箋です。本を読むことで他人の人生を疑似体験ができます。私は平凡な人生しか歩んでいませんが、世の中にはとてつもない苦難の中を歩んでおられる人もいます。そのような人たちの人間の存在への洞察は、とても考えさせられることが多いものです。また、哲学書、宗教書、紀行文、古典文学などからは、大げさに言えば生きる目的、生きる意味、人としての在り方などを考えるきっかけを与られます。読書を通していろいろな考え方に接することによって、自分の価値観とは違う価値観が存在するのを感じ得、やがて自分の考えを相対化することができます。世の中で何が恐ろしいかというそれは、自分を絶対視することです。しかし、自己を相対化することができる人は、他人の言うことに耳を傾けることができます。そうすると、思いもよらぬ良いアイデアと出会ったり、人とのつながりを深めるようになったりして、ひいては人生が豊かになると思うのです。

もしもあなたがサッカー好きなら、歴代ワールドカップ得点王の物語や戦術論を読んでみるのもよいでしょう。中国の近代史に興味があるのなら、魯迅や浅田次郎はいかがでしょうか。また、西洋絵画に心惹かれるならば、聖書はどうでしょう。ルーブル美術館に行くことがあれば、大いに役に立つこと間違いなしです(モナリザの前にある大きな絵は?)。佐賀大生の皆さん、まずはリラックスして気の向くままに興味のある本を手に取り、そして読書を一生涯の楽しみとしてください。

## ラーニング・コモンスの利活用

令和元年度は学生サークルの写真部や美術部の作品展示を多目的スペースにて行いました。また8月には「来てみんしゃい！佐賀大学へ」企画として、芸術地域デザイン学部と共催「親子で石こう版画に挑戦！テラリウムをえがこう！」をグループ学習室で開催し小学生から中学生の子どもたちによる石こう版画の作成を実施しました。9月にはこのとき作成された石こう版画の展示を多目的スペースにて行いました。10月にはイノベーション・ジャパンに出展された本学教員による発表ポスターの展示を、1月には芸術地域デザイン学部の学生による授業成果物の展示も行うなど、ラーニング・コモンスを活用いただいています。

また図書館主催のイベントとしては7ページに掲載の貴重書等の展示もグループ学習スペースにて開催しました。



石こう版画作成の様子



石こう版画の展示



美術部による展示

	利用回数
授業*	52
研修、イベント等	18

\*授業には新入生の図書館オリエンテーションを含む

## オリエンテーション・講習会

授業の1コマを使用して、新入生向けの図書館オリエンテーション、学部3年生以上向けの講習会を実施しています。毎年、担当職員間で内容を検討のうえ、より良い内容で実施できるよう努めています。令和元(平成31)年度は以下のとおり実施しました。(実施回数・参加人数は12ページを参照)

### <本館>

- ・新入生向け 図書館利用法全般
  - …OPACの使い方、図書館資料の概要、図書館サービスの使い方、館内資料配置や設備の説明、図書館のWebサービスの紹介等(アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた内容で実施)
- ・学部3年生以上向け 文献データベースの検索、文献の入手法を中心とした演習
  - …CiNii Articlesの使い方、電子ジャーナル、リンクリゾルバの紹介等(オンデマンド対応)



新入生オリエンテーション(本館)

### <医学分館>

- ・新入生向け 図書館利用法全般
  - …館内案内、OPACの使い方、医学分館資料の概要や特性、図書館サービスの使い方、図書館のWebサービスの紹介等
- ・学部3年生以上向け 文献データベースの検索、文献の入手法を中心とした演習
  - …医中誌Web・PubMedの使い方、電子ジャーナル、リンクリゾルバの紹介等(2～3コマを使用。院生には文献管理法を含む)



## 本館・分館で行っているテーマ展示

附属図書館では、学生の図書への興味、読書への関心を高めることを目的として、テーマを定め、所蔵する関連図書の展示を行っています。

令和元年度は、佐賀大学の若手職員におすすめ本を選書してもらい、手作りPOPとともに展示する取り組みを図書館若手スタッフが企画しました。貸出回数も多く、展示期間を延長するほど好評の企画となりました。POP作成会では、図書館の説明も併せて行い、大学職員の方に図書館施設や利用方法等を知っていただける機会となりました。

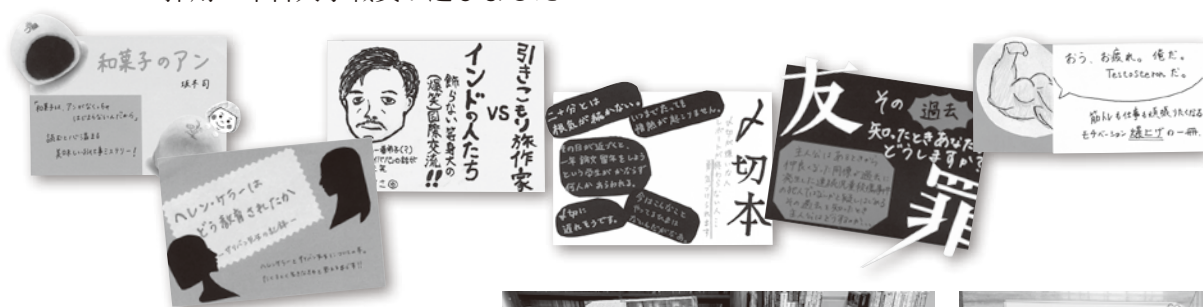
日時：令和元年10月1日(火)～11月15日(金)

場所：佐賀大学附属図書館

本館(1Fカウンター前)・分館(1階カウンター横)

展示テーマ：ちょっぴり年上のわたしたちが大学生におすすめしたい本

～採用1年目大学職員が選びました～



おすすめ本展示の様子(本館)



館内を案内する様子

そのほか、本館では「レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年」、12月1日の「映画の日」に合わせた所蔵DVDの展示、医学分館では図書館サポーター(医学部学生)による発案、選書である「七夕の夜に読みたい本」のテーマ展示を行いました。



レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年



七夕の夜に読みたい本

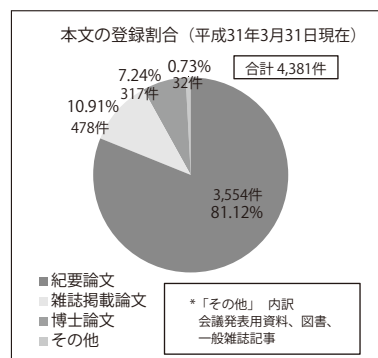
## 佐賀大学機関リポジトリ

佐賀大学機関リポジトリは、佐賀大学で生産された学術雑誌論文や紀要論文等の学術情報コンテンツを登録保存・公開するシステムです。平成20年3月に正式運用を開始し、紀要論文、博士論文を中心に収集・登録を行っています。

累積登録件数：

4,381件(令和2年3月31日現在)

(令和元年度新規登録件数：38件)



## 図書館サポーター“さらりーず”の活動

令和元年度は、医学部の学生5名が図書館サポーターとして活動を行いました。図書館サポーターは定期的にミーティングを行い、ミーティングには職員も同席し、意見交換を行いながら活動を進めました。8月に開催した「七夕の夜に読みたい本」のテーマ展示は、選書、図書の展示に至るまで、図書館サポーターが中心になって進めた企画です。また、読書奨励企画として、8月27日(火)に「学生選書ツアー」を開催し、図書館サポーターに加え、本庄地区からも6名の参加者があり、丸善ジュンク堂書店福岡店に赴いて選書を行いました。様々なジャンルから多くの図書が選ばれ、それらは納入後、本館・医学分館それぞれの学生選書コーナーに展示しました。



図書の展示準備の様子



選書ツアーの様子

## オープンキャンパス

8月8日(木)に佐賀大学のオープンキャンパスが開催され、図書館も多くの来館者で賑わいました。図書館では「アクティブな図書館空間へようこそ」と銘打って、館内を自由に見学し、高校の図書室や公共図書館とは違う大学図書館の雰囲気を実感いただけるようにしました。

また、各館の企画として、本館では、恒例の佐賀新聞記事データベースを用いて、生まれた日の新聞記事を検索・閲覧できるコーナーを設けました。医学分館では、オリジナルうちわ、しおりを作るイベントを開催しました。どちらも盛況のうちに終了しました。



本館の外で休憩する高校生ら



オリジナルうちわ、しおり作り



## 講演会・貴重資料展示の開催

## &lt;図書館月間2019&gt;

附属図書館では、図書館活動の目的のひとつである社会貢献のため、地域住民の方に生涯学習の場を提供するとの考えのもと、図書館月間として各種イベントを開催しています。令和元年度は、「旧制佐賀高校・師範学校アーカウブズ～佐賀大学のルーツを知る～」をテーマに、資料展示を行いました。

## 資料展示

会場：佐賀大学附属図書館 本館1階エントランス

期間：令和元年12月24日(火)～令和2年1月16日(木)

展示内容：旧制佐賀高校・師範学校で使用されていた資料、図書



図書館月間2019チラシ

## &lt;貴重資料講演会&gt;

佐賀大学附属図書館所蔵の貴重資料を紹介することを目的に、「和と洋の多彩な世界」と題して200点以上の俳諧書を中心とするコレクションである大内文庫と、小城鍋島文庫をはじめとする所蔵コレクションに収められている様々な洋学関係資料を採り上げ、講演会と資料展示を行いました。

## 講演会

会場：佐賀大学附属図書館 本館4階会議室

日時：令和2年2月13日(木) 13:10～14:30

「洋学資料コレクションについて」

講演者：元佐賀大学地域学歴史文化研究センター長  
青木 歳幸氏

参加者：34名

## 資料展示

会場：佐賀大学附属図書館 本館1階多目的スペース

期間：令和2年2月11日(火)～2月28日(金)

展示内容：「大内文庫」・「小城鍋島文庫」など



貴重資料講演会チラシ



講演会の様子

## &lt;貴重資料コレクション展&gt;

佐賀大学ホームカミングデーにあわせて、貴重書コレクション展を行い。色鮮やかな花々や珍しい動物がダイナミックに描かれた『洋学資料コレクション』の和本文資料のほか、海外でも収蔵機関が限られた貴重な書籍である17世紀刊行のスピノザ『神学政治論』などを展示しました。

## 資料展示

会場：佐賀大学附属図書館 本館1階エントランス

期間：令和元年11月15日(金)～令和元年12月1日(日)

展示内容：「洋学資料コレクション」・『神学政治論』・扇面(「市場直次郎コレクション」より)



貴重資料コレクション展ポスター

## 貴重資料の環境整備

本館3階貴重書庫には、小城鍋島文庫、市場直次郎コレクション等、本学が所蔵する代表的な資料群が保管されています。図書館所蔵資料を長期保存し活用していくために、貴重書庫の環境整備を次のとおり行いました。



貴重書庫

- ・貴重書庫の密閉ガス燻蒸処理及びクリーニング
- ・除湿器を新規に設置
- ・空調機を更新
- ・床をビニールシートに張り替え
- ・送風機を購入
- ・入口に粘着マットを設置
- ・データロガーを設置

また、図書館職員が資料保存に関する知識および技術を習得するため、専門業者を講師に迎え、福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区加盟館職員を対象とした「資料保存に関する講習会」を開催しました。

会 場：佐賀大学附属図書館 本館4階会議室  
 日 時：令和元年10月21日(月) 13:30～15:30  
 講 師：株式会社明治クリックス 井上桃子氏  
 内 容：資料のカビ・虫の予防と対策  
 (資料の点検、クリーニングの実習)  
 参 加 者：29名

参加者の満足度も高く、とても意義のある講習会となりました。貴重資料にとってより良い環境を整備し、管理する図書館職員も改めてカビ・虫被害対策のための方法を学んだので、これからも資料保全に努めてまいります。



講演の様子



資料の点検

## 実習・研修生の受け入れ

令和元年度は以下のとおり、実習・研修生の受け入れを行いました。

職場体験の最後の座談会で将来の夢を伺ったところ、「インテリアデザイナー、歌手・図書館司書、図書館長」とのことでした。ぜひ、夢を叶えてほしいです。

### \* 教員研修(企業・福祉施設等体験研修)

期 間：令和元年8月5日(月)、8月7日(水)  
 人 数：2名(佐賀市立兵庫小学校教諭、  
 佐賀市立鍋島小学校教諭)

### \* 職場体験

期 間：令和元年12月17日(火)  
 人 数：3名(佐賀大学教育学部附属中学校 2年生)



職場体験 図書資料の装備中



## 受入資料紹介

### 学生用図書

令和元年度学生用図書費により、以下のとおり図書を購入しました。

教員推薦図書 1,239冊、学生希望図書 208冊、図書館推薦図書 2,376冊、継続購入図書 621冊

### 寄贈図書

- ・元地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸  
佐賀藩の医学史 / 青木歳幸著(外1点)
- ・名誉教授 元経済学部教授 米倉茂  
リーマンショック10年目の衝撃 / 米倉茂著
- ・芸術地域デザイン学部教授 田中右紀  
佐賀大学美術・工芸教室50年 / 佐賀大学文化教育学部美術・工芸教室 [編]
- ・元文化教育学部教授 日高敬兒  
佐賀県水泳連盟50年史 / 佐賀県水泳連盟著(外1点)
- ・有田キャンパス事務員 山田文弘  
遺言：愛しき有田へ / 酒井田柿右衛門著(外2点)
- ・名誉教授 元全学教育機構教授 相澤照明  
共感・ピクチャレスク・ポイエーシス：18世紀イギリス美学の諸相 / 相澤照明著
- ・平成30年度医学部看護学科卒業生  
QUESTION BANK看護師国家試験問題解説 / 医療情報科学研究所編集(外19点)
- ・坂井一実  
明治・大正期における近代日本企業の創成から消滅まで：資料集/坂井一実編
- ・さが昔話の会 宮地武志  
佐賀の怪談：Ghost stories of Saga：怪談師牛抱せん夏が語るミステリー民話(外1点)
- ・古賀逸夫  
青春の学徒動員 / 古賀逸夫著 (敬称略・順不同)

## 人事異動

(平成31年4月2日～令和2年4月1日)

異動区分	発令年月日	氏名	異動後	異動前
係講座変更	1.10.1	川部修平	情報図書館課司書(総務担当)	情報図書館課司書(医学分館担当)
係講座変更	"	小野和泉	情報図書館課事務補佐員(医学分館担当)	情報図書館課事務補佐員(利用サービス担当)
係講座変更	"	武広光子	情報図書館課事務補佐員(利用サービス担当)	情報図書館課事務補佐員(図書・雑誌担当)
退職(転出)	2.3.31	大瀧礼二	大分大学研究・社会連携部 学術情報課長	情報図書館課長
定年退職	"	宮原茂之	(再雇用(フルタイム))	情報図書館課係長(総務主担当)
併任	31.4.1	大島一里	附属図書館長	
併任	"	城戸瑞穂	附属図書館副館長	
兼務命	"	浅岡宏信	情報図書館課長	総務部情報管理課長
昇進	"	疋田恵介	情報図書館課係長心得(利用サービス主担当)	情報図書館課司書(利用サービス担当)
配置換	"	正岡美奈子	経理調達課係長(収入主担当)	情報図書館課係長(利用サービス主担当)
配置換	"	岸川芳之	附属中学校事務員 *再雇用(フルタイム)	情報図書館課係長(医学分館主担当)
配置換	"	井上謙一	情報図書館課係長(総務主担当)	社会連携課係長(地域連携主担当)
採用(再雇用)	"	宮原茂之	情報図書館課事務員 *再雇用(フルタイム)	情報図書館課係長(総務主担当) *定年退職
命	"	宮原茂之	情報図書館課係長(医学分館主担当)	
係・講座変更	"	川部修平	情報図書館課司書(利用サービス担当)	情報図書館課司書(総務担当)

# 図書館統計

《令和2(2020)年3月31日現在》

## 基盤統計

蔵書冊数

(冊)

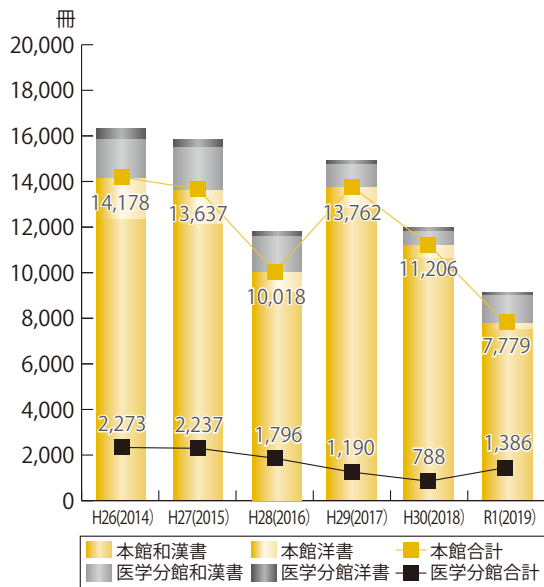
	和漢書	洋書	合計
本館	401,244	166,934	568,178
医学分館	70,007	46,175	116,182
合計	471,251	213,109	684,360

雑誌所蔵種類数

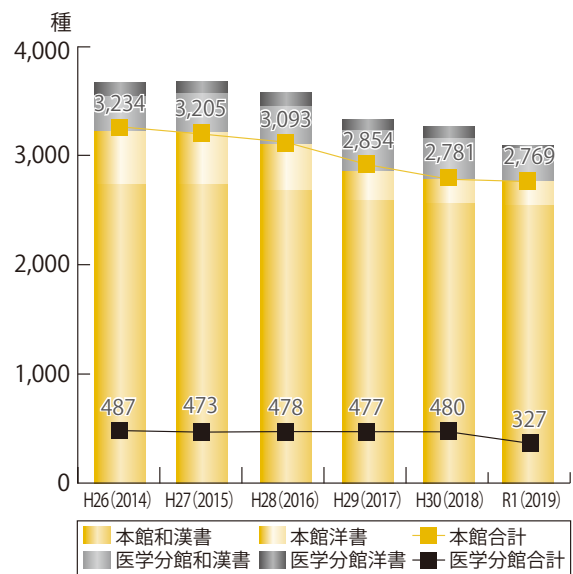
(種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,544	2,977	9,521
医学分館	1,243	1,120	2,363
合計	7,787	4,097	11,884

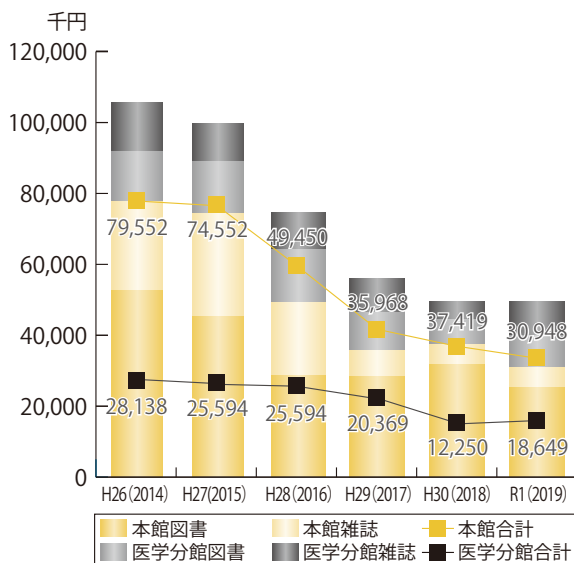
図書受入冊数



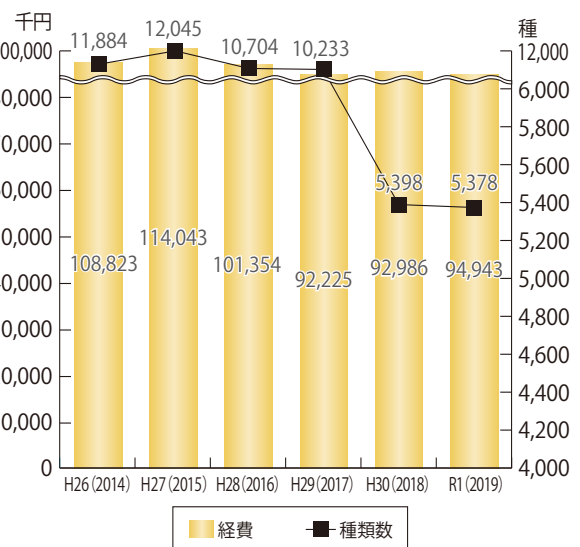
雑誌受入種類数



図書館資料費



電子ジャーナル経費と種類数





サービス統計

開館日数

〈令和元(2019)年度〉(日)

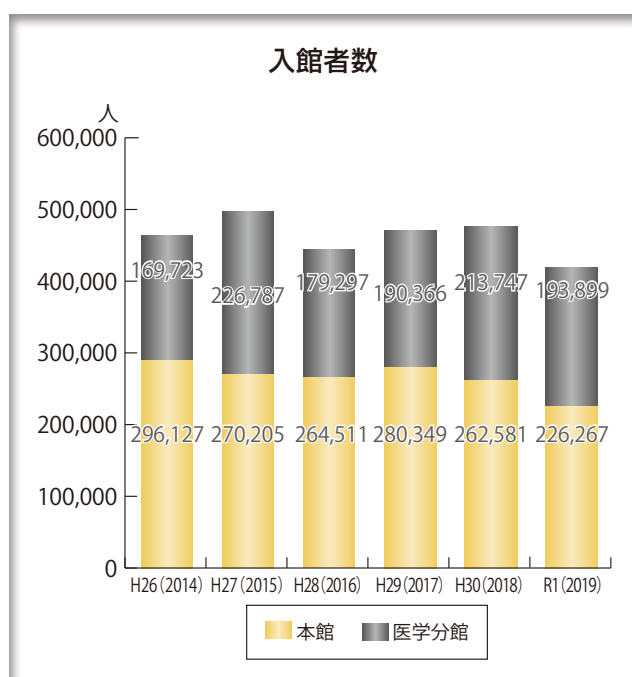
	本館	医学分館
平日	219	224
土・日・祝日	102	103
合計	321	327

利用対象者数

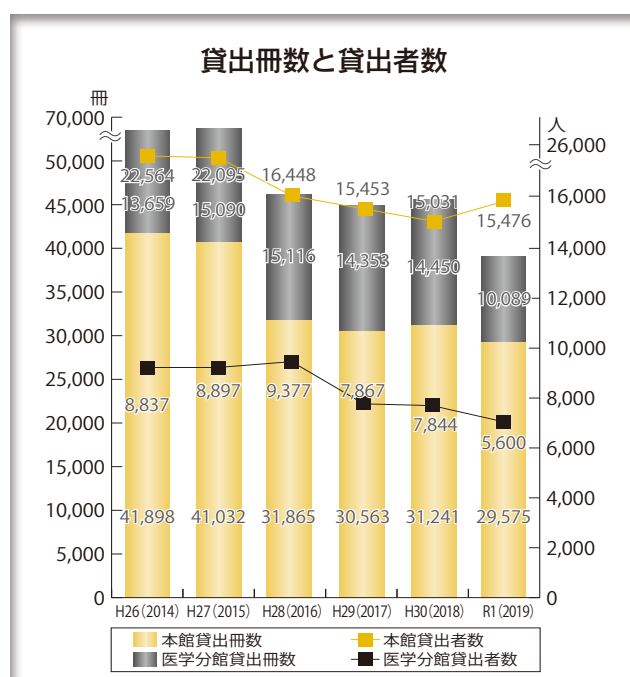
〈令和2(2020)年5月1日現在〉(人)

	本館	医学分館	合計
学生	5,554	1,128	6,682
教職員	1,092	1,421	2,513
合計	6,646	2,549	9,195

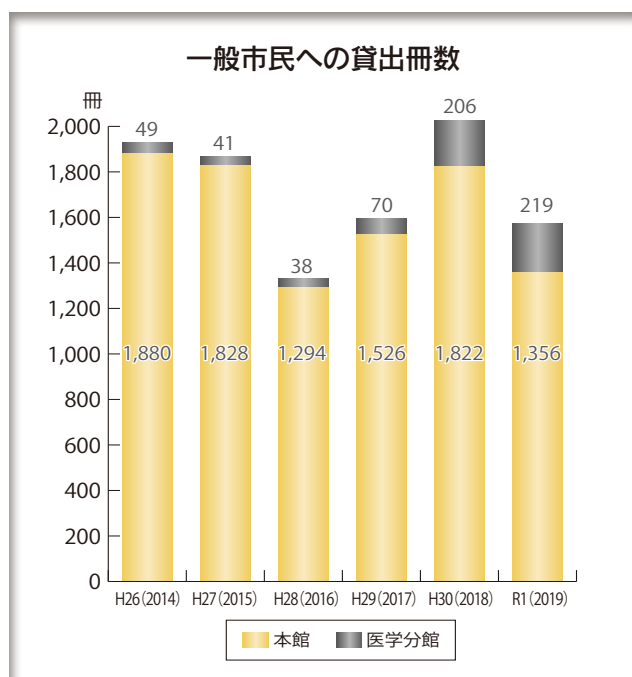
入館者数



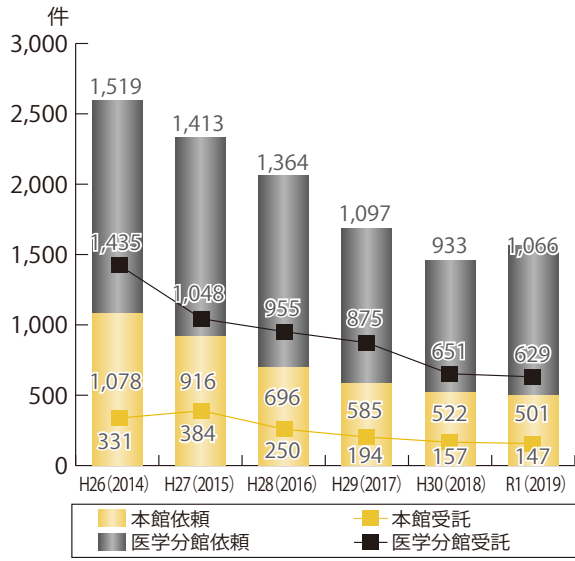
貸出冊数と貸出者数



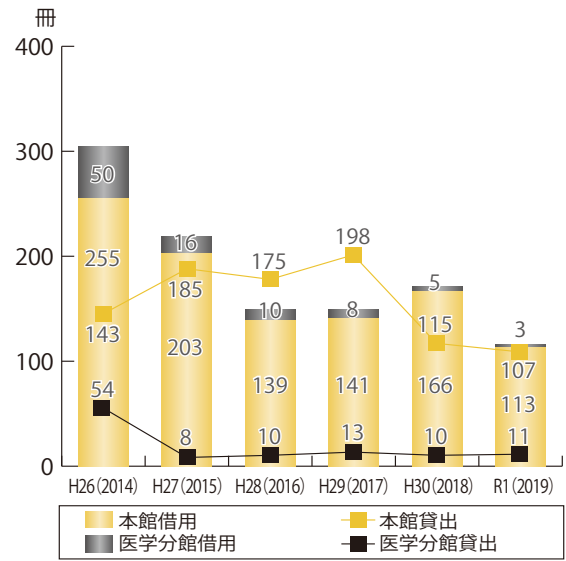
一般市民への貸出冊数



文献複写件数



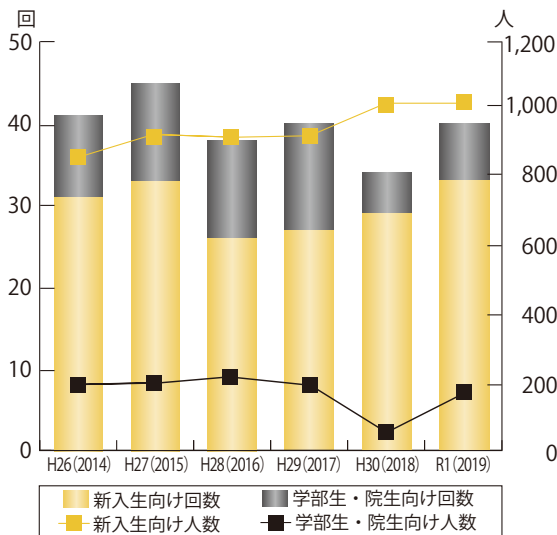
相互貸借冊数



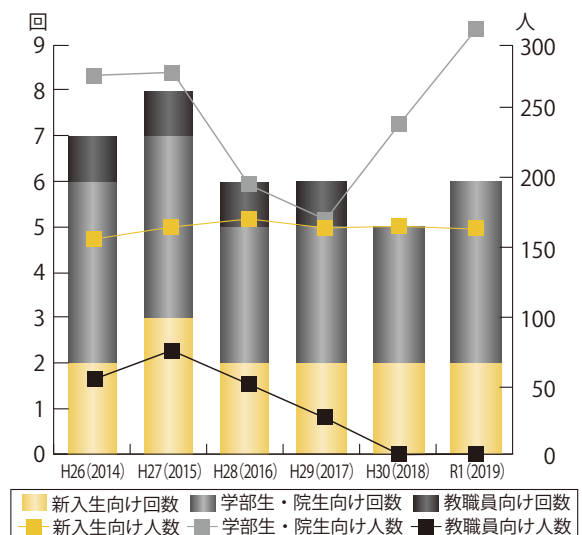
図書館オリエンテーション・講習会

			H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
本館	新入生向け	回数	31	33	26	27	29	33
		人数	860	929	924	928	1,015	1,023
	学部生・院生向け	回数	10	12	12	13	5	7
		人数	191	195	213	207	54	170
医学分館	新入生向け	回数	2	3	2	2	2	2
		人数	156	169	172	166	167	166
	学部生・院生向け	回数	4	4	3	3	3	4
		人数	272	275	191	172	242	311
	教職員向け	回数	1	1	1	1	0	0
		人数	57	78	52	27	0	0
本館	参加総数		1,051	1,124	1,137	1,135	1,069	1,193
医学分館	参加総数		485	522	415	365	409	477
参加総数(合計)			1,536	1,646	1,552	1,500	1,478	1,670

本館

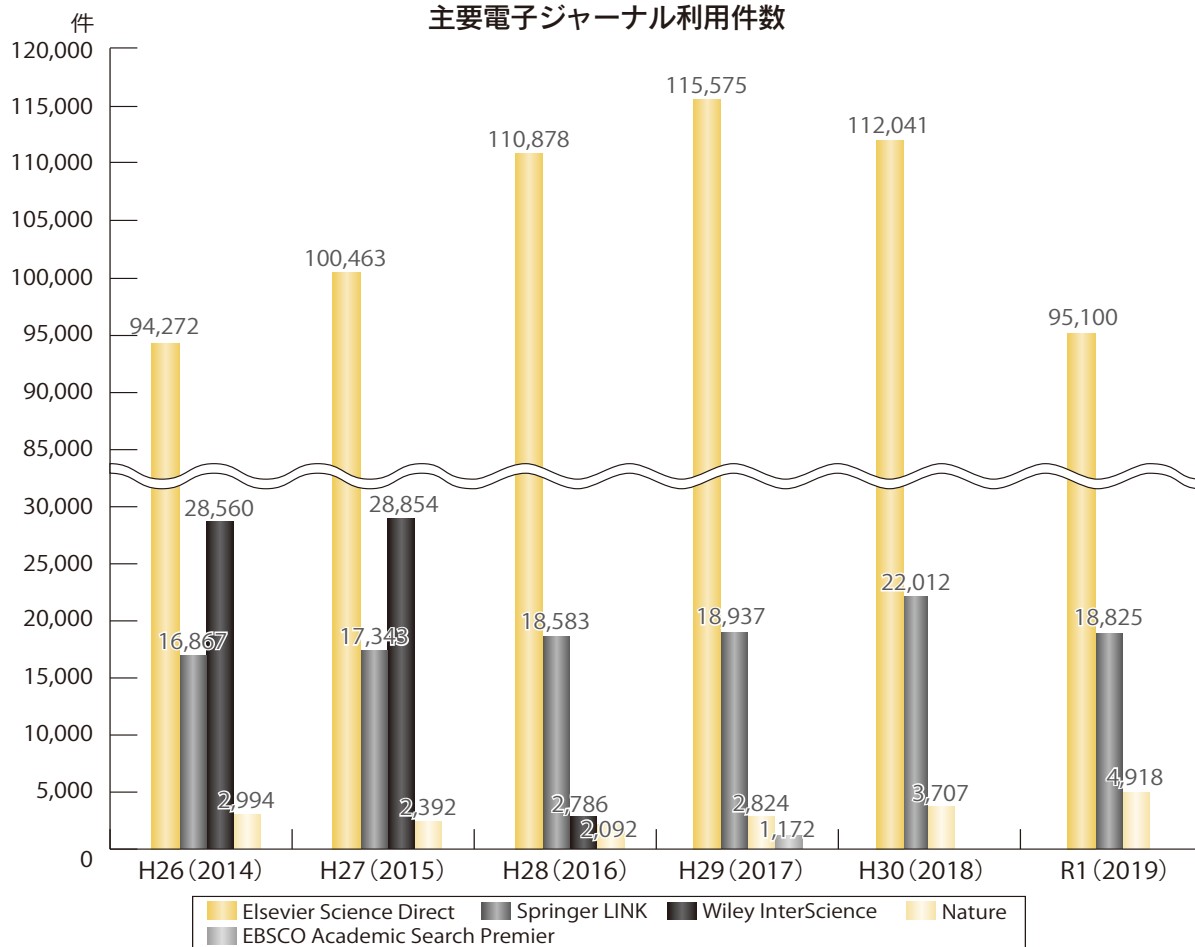


医学分館





## 主要電子ジャーナル利用件数



・Wiley InterScienceはH27(2015)まで ・EBSCO(Academic Search Premier)はH28(2016)から ・EBSCOはH30から中止

## 文献データベース利用件数

	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
Scopus	12,903 (33,671)	13,305 (33,772)	12,011 (33,922)	10,413 (33,136)	10,506 (28,737)	(26,458)
間蔵	1,040	781	730	1,035	1,720	1,239
ヨミダス歴史館	(1,127)	(892)	(453)	(918)	(3,287)	(2,184)
日経テレコン	(312,650)	(285,606)	(147,244)	(285,718)	(201,356)	(78,241)
日経BP記事検索	(7,507)	(6,748)	(5,623)	(5,624)	(3,931)	(2,393)
ジャパンナレッジ	824	1,030	647 (4,314)	791 (4,760)	626 (3,710)	549 (2,966)
UpToDate	(3,680)	(2,298)	(2,642)	(4,416)	(3,414)	(3,355)
メディカルオンライン	(22,004)	(24,963)	(26,787)	(25,159)	(29,208)	(27,374)
医中誌Web	(65,725)	(66,889)	(64,202)	(51,640)	(61,528)	(63,226)

\*括弧内は検索回数または本文利用回数

## 歴代館長・副館長

歴代館長(統合後) ※平成15年10月1日 佐賀医科大学と統合

氏名	所属部局	期間	年	月
宮島 敬一	経済学部	平15.10.1～ 平16.3.31	0	6
小倉 幸雄	理工学部	平16.4.1～ 平18.3.31	2	0
高崎 洋三	医学部	平18.4.1～ 平20.3.31	2	0
相澤 照明	文化教育学部	平20.4.1～ 平22.3.31	2	0
稲岡 司	農学部	平22.4.1～ 平26.3.31	4	0
富田 義典	経済学部	平26.4.1～ 平28.3.31	2	0
米山 博志	工学系研究科	平28.4.1～ 平30.3.31	2	0
山崎 功	芸術地域デザイン学部	平30.4.1～ 令2.3.31	2	0
大島 一里	農学部	令2.4.1～ 令4.3.31	2	0

歴代副館長

氏名	所属部局	期間	年	月
高崎 洋三	医学部	平15.10.1～ 平18.3.31	2	6
武田 淳	農学部	平18.4.1～ 平20.3.31	2	0
徳永 蔵	医学部	平20.4.1～ 平22.3.31	2	0
吉田 裕樹	医学部	平22.4.1～ 平24.3.31	2	0
田中恵太郎	医学部	平24.4.1～ 平26.3.31	2	0
熊本 栄一	医学部	平26.4.1～ 平28.3.31	2	0
宮本比呂志	医学部	平28.4.1～ 平30.3.31	2	0
池田 義孝	医学部	平30.4.1～ 令2.3.31	2	0
城戸 瑞穂	医学部	令2.4.1～ 令4.3.31	2	0

## 図書館の運営体制

### 附属図書館長・副館長

令和2年4月1日現在

附属図書館長 大島 一里(農学部教授)  
附属図書館副館長 城戸 瑞穂(医学部教授)

### 附属図書館運営委員会

令和2年4月1日現在

委員長 大島 一里 (附属図書館長)  
委員 城戸 瑞穂 (附属図書館副館長)  
松前 進 (総合情報基盤センター長)  
鯉川 雅之 (全学教育機構副機構長)  
井上 伸一 (教育学部 教授)  
柳 健司 (芸術地域デザイン学部 教授)  
平地 一郎 (経済学部 教授)  
村久保 雅孝 (医学部 准教授)  
伊藤 幸広 (理工学部 教授)  
後藤 文之 (農学部 教授)  
木塚 徳男 (学術研究協力部長)  
オブザーバー 渡 孝則 (理事(企画・総務・財務担当)・副学長)

### 附属図書館医学分館運営委員会

令和2年4月1日現在

委員長 城戸 瑞穂 (附属図書館副館長)  
委員 村久保 雅孝 (医学部 准教授)  
藤野 成美 (医学部 教授)  
井原 秀之 (医学部 准教授)  
江村 正 (卒後臨床研修センター 准教授)



## 館内マップ、各係の紹介

## ◆総務を担当

図書館運営のための裏方の業務を担当しています。

## 【業務内容】

- (1) 会議及び諸行事、各委員会運営、公印の管守、文書の接受、発送及び整理保存
- (2) 図書館所管の規程等の制定及び改廃
- (3) 図書館の安全衛生管理及び危機管理
- (4) 予算要求、予算の配分及び管理並びに決算
- (5) 物品の管理及び受領、資産の管理
- (6) 施設の整備、防火及び清掃等役務
- (7) 調査、統計及びその他諸報告の総括

## ◆図書・雑誌を担当

図書や雑誌が館内に配架されるまでを担当しています。図書・雑誌だけでなく、電子ジャーナルも契約しています。

## 【業務内容】

- (1) 図書の選択及び収集
- (2) 図書の契約、図書の受入れ
- (3) 図書の除籍、除却及び廃棄等、図書の装備
- (4) 図書のデータベースの作成及び編成、品質管理
- (5) 雑誌の選択及び収集
- (6) 雑誌の契約、雑誌の受入れ
- (7) 雑誌の除籍、除却及び廃棄等
- (8) 雑誌のデータベースの作成及び編成、品質管理
- (9) 雑誌製本
- (10) 電子ジャーナル業務

## ◆利用サービスを担当

図書館の利用全般を担当しています。カウンターなどで利用者みなさんと接する機会の多いスタッフです。

## 【業務内容】

- (1) 図書館資料の閲覧及び貸出、配架及び整頓、管理及び保全
- (2) 閲覧室及び書庫の管理
- (3) 図書館及び図書館資料(電子媒体のリソースを含む)の利用案内及び利用指導
- (4) 図書館の広報
- (5) 文献複写、図書館資料の相互利用
- (6) 文献ナビゲーションツールの保守管理
- (7) 図書館システムの開発及び管理運営
- (8) 図書館ネットワークの維持管理
- (9) 図書館情報機器の保守管理及び運用
- (10) 機関リポジトリ、電子図書館システムの管理運営
- (11) 参考業務
- (12) 図書館ホームページの管理運営

## ◆医学分館を担当

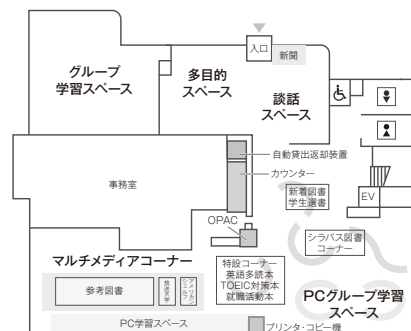
医学部にある医学分館を担当しています。

## 【業務内容】

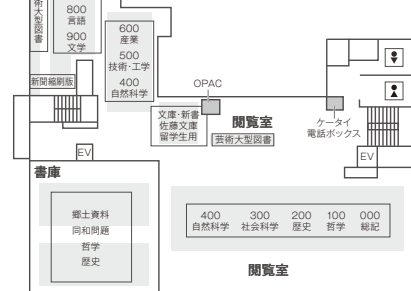
- (1) 図書館資料の閲覧及び貸出、配架及び整頓、管理及び保全
- (2) 閲覧室及び書庫の管理
- (3) 図書館及び図書館資料の利用案内及び利用指導
- (4) 図書館資料の選択及び収集
- (5) 文献複写、図書館資料の相互利用
- (6) 図書、雑誌のデータベースの作成及び編成
- (7) 複写料金収納
- (8) 参考業務

## 本館

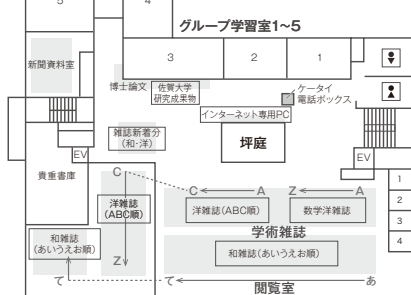
## 1階



## 2階



## 3階

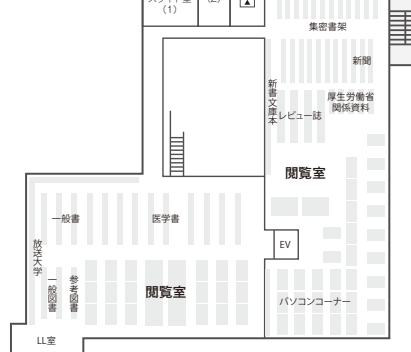


## 分館

## 1階



## 2階



## 図書館日誌(行事・会議・研修等)

### 平成31年(令和元年)

- 4月1日 図書館情報誌「さりり」11号発行
- 4月18日 第49回 九州地区国立大学図書館協会総会  
(当番館：九州工業大学 於：小倉リーセントホテル)
- 4月19日 第70回 九州地区大学図書館協議会総会  
(当番館：九州工業大学 於：小倉リーセントホテル)
- 5月16日 令和元年度 第1回 附属図書館電子ジャーナル等検討専門委員会
- 5月23日 令和元年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会  
(理事館：産業医科大学 於：産業医科大学)
- 6月12日 令和元年度 第1回 附属図書館運営委員会
- 6月20日 第66回 国立大学図書館協会総会  
～21日 (当番館：岡山大学 於：ホテルグランヴィア岡山)
- 6月28日 令和元年度 第1回 附属図書館選書専門委員会
- 7月5日 令和元年度 第1回 佐賀県公共図書館職員研修会(於：佐賀県立図書館)
- 7月18日 令和元年度 第2回 附属図書館電子ジャーナル等検討専門委員会
- 8月5日 令和元年度 第2回 附属図書館運営委員会
- 8月5日 教員研修(企業・福祉施設等体験研修)  
7日 2名(佐賀市立兵庫小学校教諭、佐賀市立鍋島小学校教諭)
- 8月23日 令和元年度 佐賀県大学図書館協議会総会  
(幹事館：西九州大学 於：西九州大学)
- 8月27日 学生選書ツアー(於：福岡市)  
中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー  
(於：九州大学)
- 9月18日 令和元年度 第2回 佐賀県公共図書館職員研修会(於：佐賀県立図書館)  
～19日
- 9月20日 CAT2020説明会(於：九州大学)
- 9月26日 令和元年度 第1回 医学分館運営委員会
- 9月26日 九州地区目録講習会(於：鹿児島大学)  
～27日
- 10月17日 図書館報「ひかり野」43号発行



- 10月 3日 令和元年度 第1回 福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会  
(当番館：九州龍谷短期大学 於：九州龍谷短期大学)
- 10月21日 資料保存に関する講習会(於：附属図書館4階会議室)
- 10月25日 第67回 九州地区医学図書館協議会総会  
(当番館：長崎大学 於：長崎大学)  
令和元年度 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議  
(当番館：九州工業大学 於：九州工業大学)
- 11月13日 令和元年度 第2回 附属図書館選書専門委員会(メール会議)  
～ 20日
- 11月18日 令和元年度 第3回 附属図書館運営委員会(メール会議)  
～ 22日
- 11月15日 貴重書コレクション展示(於：附属図書館1階エントランス)  
～ 12月1日
- 11月19日 令和元年度 第3回 佐賀県公共図書館研修会(於：佐賀市立図書館)
- 11月29日 令和元年度 九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議(於：九州大学)  
第27回 九州地区医学図書館員セミナー(当番館：熊本大学 於：熊本大学)
- 12月 4日 令和元年度 第4回 附属図書館運営委員会
- 12月17日 職場体験 3名(佐賀大学 教育学部 附属中学校 2年生)
- 12月19日 令和元年度 第1回 評価専門委員会(メール会議)  
～ 26日
- 12月24日 図書館月間資料展示(於：附属図書館1階エントランス)  
～ 1月16日
- 12月25日 令和元年度 第5回 附属図書館運営委員会

## 令和2年

- 2月11日 貴重資料展示(於：附属図書館1階多目的スペース)  
～ 28日
- 2月13日 貴重資料講演会(於：附属図書館4階会議室)
- 2月14日 令和元年度 第2回 福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会  
(当番館：西九州大学 於：西九州大学)
- 3月27日 令和元年度 第6回 附属図書館運営委員会

## 貴重書紹介

### 近世の疫病 ―小城藩日記データベースを用いて―

#### 解説

現在、全世界で新型コロナウイルスが猛威をふるっているが、江戸時代の人びとは疫病に対し、どのように立ち向かっていたのだろうか。附属図書館所蔵小城鍋島文庫の史料を用いた「小城藩日記データベース」により、事例を紹介したい。

このデータベースは、江戸時代250年余のうち、126年分の「日記目録」（小城鍋島家の政治などの記録である「日記」の記事目録）をもとにしており、どんな記事が「日記」（84年分）にあるか、検索することができる。試しに「疫病」で検索すると、約7万点の記事のうち、19件しかヒットしなかった。しかしこのデータベースでは、検索語と関連している語句を自動的に抽出できる。「疫病」ともっとも関連している語は、「流行」である。今度は「流行」で検索すると、92件ヒットした。「流行」の関連語では、「疱瘡」と「祈祷」が気になった。

「疱瘡」は天然痘のことであり、一度罹れば二度目はないという知識にもとづき、日本でもいろいろな予防法が考えられ、幕末にはヨーロッパから牛痘法をスムーズに導入できた。「流行」の関連語として、「種痘」も1件ある。安政6年(1859)に天然痘が蔓延したため、小城鍋島家から佐賀藩へ、領民の予防接種(種痘)を要請した記事である。江戸時代、もっとも人びとを悩ませた疫病は天然痘で、その対応のため西洋医学の技術が導入されたことが、データベースからわかる。

一方「祈祷」だが、小城鍋島家は疫病が流行すると、そのつど自領内の寺社や山伏に、疫病を鎮めるための祈祷を命じていた。もともと疫病には、神仏頼みしか手段がなかったのである。他にも患者に対し「施薬」をしたという記事が見受けられるが、事例はわずかである。種痘の導入は、「日記」にみられる唯一の効果的な疫病対策であり、人びとの命を救う、画期的な出来事だったことがわかる。

(地域学歴史文化研究センター 伊藤昭弘)



佐賀藩へ種痘を要請した記事(3条目)



安政6年日記